

## 【 北区 】 胃がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年）	している
検査方法（胃部X線または内視鏡検査）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	93,903	102,019	195,922
【東京都調査による対象者率(区部)：58.2%】			
実際の受診者数	1,736	2,761	4,497

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	胃部X線(35～39歳)
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.2%	4.7%	3.9%
要精検率	11%以下	18.0%	11.1%	13.8%
精検受診率	70%以上	67.7%	76.1%	71.9%
精検未把握率	10%以下	32.3%	23.9%	28.1%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.6%	0.7%	0.6%
がん発見率	0.11%以上	0.12%	0.07%	0.09%

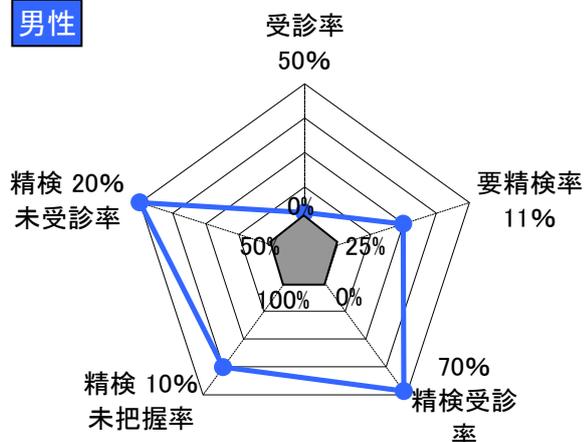
### プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

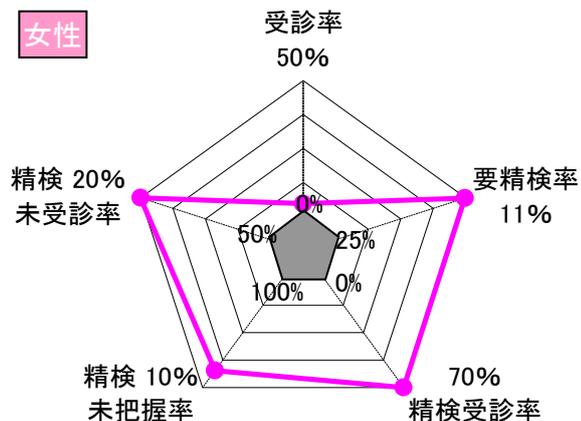
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 男性



### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【 北区 】 大腸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査(二日法)）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	93,903	102,019	195,922
【東京都調査による対象者率(区部)：62.3%】			
実際の受診者数	3,101	5,326	8,427

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.3%	8.4%	6.9%
要精検率	7%以下	9.2%	6.7%	7.6%
精検受診率	70%以上	60.5%	61.4%	61.0%
精検未把握率	10%以下	39.5%	38.6%	39.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.5%	2.0%	2.7%
がん発見率	0.13%以上	0.32%	0.13%	0.20%

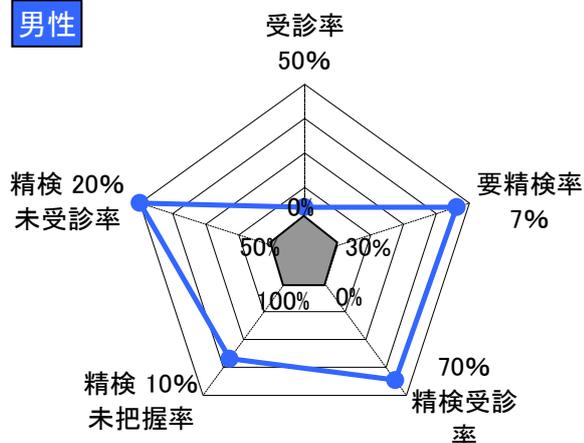
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

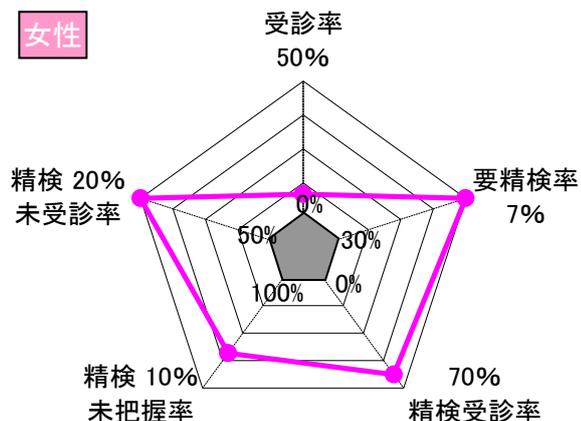
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 北区 】 子宮頸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		148,446	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		5,009	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	コルポスコープ診 (集団検診のみ)

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		13.7%	
要精検率	1.4%以下		2.3%	
精検受診率	70%以上		83.8%	
精検未把握率	10%以下		16.2%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.7%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 【評価結果】

##### <受診率>

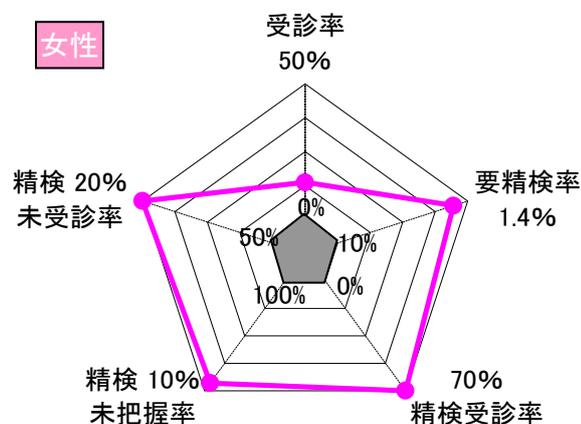
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

##### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

##### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。



## 【 北区 】 乳がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		102,019	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		5,193	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		16.8%	
要精検率	11%以下		10.8%	
精検受診率	80%以上		89.9%	
精検未把握率	10%以下		10.1%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.6%	
がん発見率	0.23%以上		0.50%	

#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 【評価結果】

##### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

##### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

